



2022年11月10日

各位

会社名株式会社 リグア  
代表者名 代表取締役社長 川瀬 紀彦  
(コード番号：7090 東証グロース)  
問合せ先 取締役管理部長 大浦 徹也  
(TEL：06-7777-0159)

**(訂正)「2023年3月期 第2四半期決算説明資料」の一部訂正について**

当社は、2022年11月8日に開示いたしました「2023年3月期 第2四半期決算説明資料」の記載内容の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正の理由

「2023年3月期 第2四半期決算説明資料」に記載の数値に誤りがありましたので、訂正を行います。

4 ページ：「連結損益計算書」販管費・増減額

5 ページ：「セグメント別実績」2023/3 期 2Q、接骨院ソリューションと金融サービスの EBITDA

6 ページ：「営業利益増減要因/前年通期比較」接骨院ソリューション増収効果、金融サービス増収効果

9 ページ：「接骨院ソリューション事業 四半期推移」2023/3 期 2Q ソフトウェア売上高、教育研修コンサル売上高、営業利益、営業利益率

11 ページ：「金融サービス事業 四半期推移」2023/3 期 2Q 営業利益、営業利益率

2. 訂正の内容

別紙をご参照ください。なお、訂正箇所は赤枠で表示しております。

以上

(別紙)

① 「連結損益計算書」 販管費・増減額 (4 ページ)

<訂正前>

連結損益計算書

連結売上高は、接骨院ソリューション事業の低迷により、前年同期比で減収に。  
連結利益は、今後の成長に向けた人材投資、設備投資等の先行投資費用の増加により、減益に。

(百万円)	2022/3 期 2Q	2023/3 期 2Q	増減額	増減率
売上高	1,659	1,236	△423	△25.5%
EBITDA	190	△237	△427	-
売上原価	843	706	△137	△16.3%
原価率	50.8%	57.1%	6.3ppt	-
売上総利益	816	530	△286	△35.0%
販管費	718	886	+170	+23.5%
営業利益	98	△356	△454	-
営業利益率	5.9%	△28.8%	-	-
経常利益	92	△365	△457	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	32	△265	△297	-

LIGUA

© LIGUA Inc. All rights reserved.

4

<訂正後>

連結損益計算書

連結売上高は、接骨院ソリューション事業の低迷により、前年同期比で減収に。  
連結利益は、今後の成長に向けた人材投資、設備投資等の先行投資費用の増加により、減益に。

(百万円)	2022/3 期 2Q	2023/3 期 2Q	増減額	増減率
売上高	1,659	1,236	△423	△25.5%
EBITDA	190	△237	△427	-
売上原価	843	706	△137	△16.3%
原価率	50.8%	57.1%	6.3ppt	-
売上総利益	816	530	△286	△35.0%
販管費	718	886	+168	+23.5%
営業利益	98	△356	△454	-
営業利益率	5.9%	△28.8%	-	-
経常利益	92	△365	△457	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	32	△265	△297	-

LIGUA

© LIGUA Inc. All rights reserved.

4

② 「セグメント別実績」2023/3 期 2Q、接骨院ソリューションと金融サービスの EBITDA (5 ページ)

<訂正前>

セグメント別実績

接骨院ソリューションの売上の増減額 (△ 322百万円) のうち、機材・消耗品が△ 321百万円。  
 金融サービスの売上の増減額 (△ 100百万円) のうち、IFAが△135百万円。  
 上記の減収に加え、今後の成長に向けた人材投資、設備投資等の先行投資費用の増加により減益。

(百万円)	2022/3 期 2Q	2023/3 期 2Q	増減額	増減率
売上高	1,659	1,236	△423	△25.5%
接骨院ソリューション	1,169	847	△322	△27.6%
金融サービス	489	389	△100	△20.6%
EBITDA	190	△237	△427	-
接骨院ソリューション	143	△205	△348	-
金融サービス	47	△32	△79	-
営業利益	98	△356	△454	-
接骨院ソリューション	69	△333	△402	-
金融サービス	28	△23	△51	-



© LIGUA Inc. All rights reserved.

5

<訂正後>

セグメント別実績

接骨院ソリューションの売上の増減額 (△ 322百万円) のうち、機材・消耗品が△ 321百万円。  
 金融サービスの売上の増減額 (△ 100百万円) のうち、IFAが△135百万円。  
 上記の減収に加え、今後の成長に向けた人材投資、設備投資等の先行投資費用の増加により減益。

(百万円)	2022/3 期 2Q	2023/3 期 2Q	増減額	増減率
売上高	1,659	1,236	△423	△25.5%
接骨院ソリューション	1,169	847	△322	△27.6%
金融サービス	489	389	△100	△20.6%
EBITDA	190	△237	△427	-
接骨院ソリューション	143	△215	△348	-
金融サービス	47	△21	△79	-
営業利益	98	△356	△454	-
接骨院ソリューション	69	△333	△402	-
金融サービス	28	△23	△51	-



© LIGUA Inc. All rights reserved.

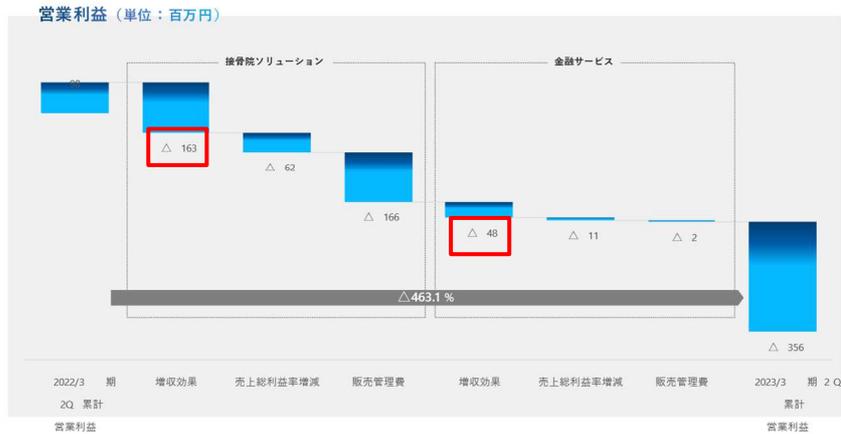
5

③ 「営業利益 増減要因/前年通期比較」 接骨院ソリューション増収効果、金融サービス増収効果 (6 ページ)

<訂正前>

営業利益 増減要因 / 前年通期比較

接骨院ソリューションは、主要機材の入荷遅れによる売上の減少、人材投資や設備投資等の先行投資による販売管理費の増加が減益要因に。  
金融サービスは、低調なマーケットの影響による売上の減少が減益要因に。



LIGUA

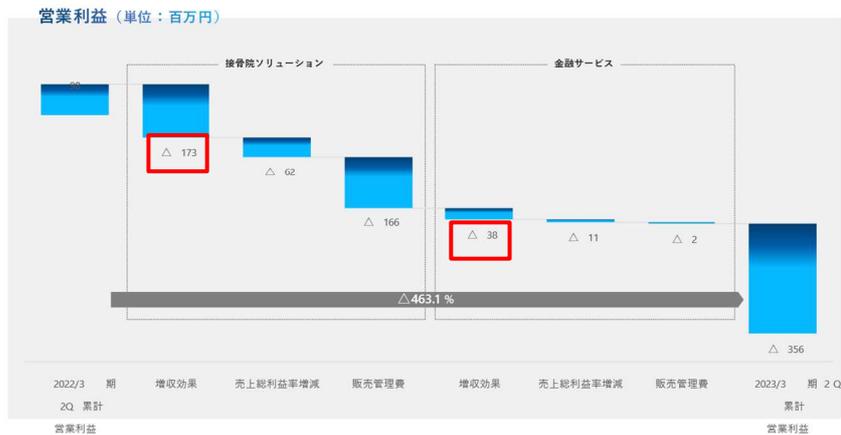
© LIGUA Inc. All rights reserved.

6

<訂正後>

営業利益 増減要因 / 前年通期比較

接骨院ソリューションは、主要機材の入荷遅れによる売上の減少、人材投資や設備投資等の先行投資による販売管理費の増加が減益要因に。  
金融サービスは、低調なマーケットの影響による売上の減少が減益要因に。



LIGUA

© LIGUA Inc. All rights reserved.

6

④ 「接骨院ソリューション事業 四半期推移」2023/3 期 2Q ソフトウェア売上高、教育研修コンサル売上高、営業利益、営業利益率（9 ページ）

<訂正前>

接骨院ソリューション事業 四半期推移

「機材・消耗品」の低迷により、売上高は引き続き低水準に。  
 主要機材の入荷が一部再開するも、今後の入荷予定は不透明な状況。  
 2023/3 期下期は、レセ ONE の新機能リリースに合わせて、既存顧客向けのクロスセルに注力する方針。



<訂正後>

接骨院ソリューション事業 四半期推移

「機材・消耗品」の低迷により、売上高は引き続き低水準に。  
 主要機材の入荷が一部再開するも、今後の入荷予定は不透明な状況。  
 2023/3 期下期は、レセ ONE の新機能リリースに合わせて、既存顧客向けのクロスセルに注力する方針。



⑤ 「金融サービス事業 四半期推移」 2023/3 期 2Q 営業利益、営業利益率（11 ページ）

<訂正前>

金融サービス事業 四半期推移

保険は、安定的な売上推移を継続中。  
IFAは、低調なマーケットの影響を受け、手数料収入が減少。



© LIGUA Inc. All rights reserved.

11

<訂正後>

金融サービス事業 四半期推移

保険は、安定的な売上推移を継続中。  
IFAは、低調なマーケットの影響を受け、手数料収入が減少。



© LIGUA Inc. All rights reserved.

11